

奄美海上保安部便り 第 80 号

- ・第 80 号は 2026 年 6 月から 2026 年 8 月までの活動状況などを掲載しております。
- ・奄美海上保安部ホームページはこちら <https://www.kaiho.mlit.go.jp/10kanku/amami/>



奄美市防災危機管理機関との災害対処協同訓練 ～関係機関参集 いざという時の備えを～

6 月 23 日、陸上自衛隊奄美駐屯地において、奄美市防災危機管理機関が参集し、同駐屯地主催の「災害対処協同訓練」が開催されました。

訓練では、陸上自衛隊及び消防が保有する災害対応機材の展示や、参加機関間で「災害発生時の対応」について情報の共有を行い、連携を深めました。



海上保安業務のプレゼン



●訓練参加機関

陸上自衛隊奄美駐屯地 鹿児島県大島支庁 奄美海上保安部 名瀬測候所 奄美市役所
奄美警察署 大島地区消防組合 鹿児島県立大島病院 名瀬徳洲会病院

海上保安官募集中！

本号の「目指せ、海上保安官！」のコーナーで、海上保安官からのメッセージを掲載しています。「海上保安大学校」、「海上保安学校」への入学をご希望される受験生は是非参考にしてください。

海上保安官採用サイト



<https://www.kaiho.mlit.go.jp/recruitment/>

お問い合わせ先 奄美海上保安部管理課（TEL 0997-52-5811）

陸上幕僚副長巡視船「かいもん」視察

6月9日、陸上幕僚副長ほか防衛省職員等16名による奄美海上保安部視察が行われ、保安部の業務概要説明と巡視船「かいもん」の見学が行われました。



労働安全衛生大会で海難防止講習

◇村上建設主催の労働安全衛生大会

6月9日、アマホームP L A Z Aで開催された村上建設主催の労働安全衛生大会において、村上建設及び関連企業関係者約100名に対し、奄美海上保安部交通課職員による海難防止講習を行い、工事・作業許可申請及び安全対策、海上作業時の事故事例等について説明し、安全意識の向上を呼びかけました。



◇竹山建設主催の労働安全衛生大会

7月3日、龍郷町りゅうゆう館で開催された竹山建設主催の労働安全衛生大会において、竹山建設・竹栄会関係者約150名に対し、奄美海上保安部交通課職員による海難防止講習を行い、工事・作業許可申請及び安全対策、海上作業時の事故事例等について説明し、安全意識の向上を呼びかけました。





未来に残そう青い海 ～海洋環境保全推進月間～

海上保安庁では、毎年5月30日（ゴミゼロ）から6月30日までの期間を「海洋環境保全推進月間」と定め、「未来に残そう青い海」をスローガンに、海洋環境保全にかかる指導・啓発活動を行っており、奄美海上保安部、古仁屋海上保安署では地元小学校児童等とともに海洋環境保全教室や漂着ごみ調査を行いました。

◇円小学校との漂着ごみ調査

6月11日、龍郷町の円海岸において、龍郷町立円小学校及び龍郷町立龍北中学校の児童、生徒、教員及び地元住民とともに海岸清掃・漂着ごみ調査を行い、279kgのごみを回収しました。

活動開始前に、海上保安部職員によるプラスチックごみの発生防止に関する注意事項や海で遊ぶ際の注意事項について説明を行いました。



◇与路小中学校との漂着ごみ調査

6月18日、与路小中学校前面海域において、与路小中学校児童3名、教員5名、保護者等8名とともに海岸清掃・漂着ごみ調査を行いました。



台風海難防止強調運動

奄美海上保安部及び古仁屋海上保安署では、本格的台風シーズンを迎えるにあたり、海事関係者等が台風に対する認識を高め、台風による海難の未然防止を図ることを目的として、6月21日から6月30日まで「台風海難防止強調運動」期間として定め、啓発活動を行いました。

◇名瀬港台風津波等対策委員会

6月17日、名瀬第二地方合同庁舎において、港湾関係15機関が集い、名瀬港での台風・津波等による災害を未然に防ぐため、名瀬港台風津波等対策委員会を開催しました。

台風発生時の対応等について情報共有を図るとともに、名瀬測候所の統括予報官による台風や防災に関する講話も行われました。



◇台風海難防止啓発活動の状況

漁業関係者、旅客船事業者、釣具店、プレジャーボート等を訪問し、ポスター、リーフレットを配布し、台風による海難の未然防止をお願いしました。



海上安全指導員連絡会

7月2日、名瀬第二地方合同庁舎において、令和8年度海上安全指導員連絡会議を開催しました。

連絡会では、本年度の海難防止啓発活動の説明と意見交換を行い、連携して活動を行っていくことを確認しました。



＜海上安全指導員とは＞海上保安庁では昭和49年から、安全なマリンレジャーを推進するため、安全航行に関する周知・啓発活動を自主的に実施している民間の方々をマリンレジャーのリーダーとして位置づけ、管区海上保安本部長が「海上安全指導員」として指名し、海上における安全航行に関するマナー周知、当該海域の各種情報の提供等の安全活動を行ってもらっています。

奄美海上保安部管内では、民間有志の7人が「海上安全指導員」に指名され、プレジャーボートの安全指導をメインに、マリンレジャーのリーダーとして活躍されています。



「2026 奄美シーカヤックマラソン IN 加計呂麻大会」警戒

7月5日、大島海峡において、「2026 奄美シーカヤックマラソン」が開催されました。

本大会は34回を迎え、231艇（381人）が参加し、古仁屋海上保安署は、監視取締艇「ばるさあ」を出動させ、関係機関と連携して監視警戒を行いました。



「うみまる」くんも警戒中

✚ 宿泊施設への遊泳者に対する海難防止協力依頼

7月6日、龍郷町で発生した「ホテル宿泊客（観光客）が海岸で遊泳中に一時行方不明となる事案」を受け、7月8日、龍郷町所在の各ホテル、民宿等の宿泊施設に対して、宿泊客に遊泳の際の注意事項を伝えるための「チェックシート」を配布し、遊泳中の事故防止への協力を依頼しました。

奄美海上保安部からのお願い

遊泳中の事故が多発しております。
遊泳をする予定がある方は次の点にご注意願います。

- ☐ ライフジャケットを着用する
- ☐ 連絡手段を必ず用意しておく
(防水バック入り携帯電話など)
- ☐ 複数人で活動する
(やむを得ず単独で行動する場合は絶対に無理をしない)
- ☐ 飲酒したら絶対に泳がない
- ☐ 天気が悪い日、悪くなる予報の場合は泳ぎに行かない(海の流れが速くなるため)
- ☐ お子様がいる場合は、お子様から目を離さない

✚ 海の事故ゼロキャンペーン～海難ゼロへの願い～

海上保安庁では、7月15日から7月31日までを「海難ゼロへの願い」をスローガンに、官民一体で海難防止に取り組む「海の事故ゼロキャンペーン期間」とし、また、引続き第十管区海上保安本部では、8月16日までを「夏季安全推進期間」としており、奄美海上保安部、古仁屋海上保安署では、様々な海難防止啓発活動を行いました。

◇ 3 機関合同啓発活動

7月25日、奄美空港において、警察、消防、奄美海上保安部の3機関合同で、観光客をターゲットとしたマリンレジャー事故防止の啓発活動を実施しました。



◇ 瀬戸内町小型船舶交通安全協議会との合同パトロール

7月26日、古仁屋海上保安署では、大島海峡内において巡視艇「いそなみ」と「瀬戸内町小型船舶交通安全協議会」と連携し、**“初”**となる合同パトロールを行いました。



海上安全教室実施状況

奄美海上保安部、古仁屋海上保安署では、ご依頼に応じて、各小学校等で海上安全教室を行いました。

◇瀬戸内町立諸鈍小中学校で海上安全教室

6月3日、加計呂麻島の諸鈍小中学校において、海上安全教室を実施しました。

台風通過直後の海上荒天により屋内での実施となったものの、遊泳時の注意事項の説明や心肺蘇生法の体験等を行いました。



◇瀬戸内町立伊子茂小中学校で海上安全教室

6月11日、伊子茂小中学校（加計呂麻島）の前面海域において、児童生徒31名、教員10名、保護者・地元住民12名に対して、海上安全教室を実施しました。

児童生徒には遊泳時の注意事項や離岸流について説明し、教員、保護者、地元住民に対しては、心肺蘇生法の体験等も行いました。



◇瀬戸内町立与路小中学校で海上安全教室

6月18日、与路小中学校及び前面海域において、与路小中学校児童生徒3名、教員、保護者等12名に対し、海上安全教室を実施しました。

児童生徒には海水浴時の注意事項や離岸流について説明し、教員及び保護者等に対して心肺蘇生法の体験等を行いました。



◇奄美市立小湊小学校で海上安全教室

7月3日、小湊小学校の児童、教員、保護者計30名に対し海上安全教室を実施し、遊泳時における注意事項や海の危険生物の紹介等を行いました。



◇瀬戸内町立古仁屋小学校で海上安全教室

7月7、8日、古仁屋小学校屋外プールにおいて、児童256名、教員8名に対して、海上安全教室を実施し、遊泳時の注意事項や離岸流等の説明を行いました。



◇宇検村立田検中学校で海上安全教室

7月10日、宇検村総合運動場体育館及びプールにおいて、田検中学校生徒24名、教員、保護者9名に対して、海上安全教室を実施し、遊泳時の注意事項や離岸流等の説明のほか救助者引揚げ体験も行いました。



ロープを使用して救助者引揚げ体験

◇奄美少年自然の家開催「マリンフェスタ」で海上安全教室

7月18日、奄美市朝仁海岸において、奄美少年自然の家が主催する「マリンフェスタ」が開催され、その中で奄美海上保安部職員による海上安全教室を実施し、児童、保護者計130名に対して、遊泳時の注意事項やペットボトルを使用した救助方法について講習を行いました。



◇親子すこやかセンターで海上安全教室

7月28日、瀬戸内町役場の「親子すこやかセンター」において、乳幼児及び保護者5組、役場職員4名に対して、海上安全教室を実施し、遊泳時の注意事項や離岸流等の説明を行い、特に「子供から目を離さない！」ことを強調するとともに、救命講習も行いました。



与路島で巡視艇「いそなみ」一般公開

7月16日、与路島の与路港において、島民に対して巡視艇「いそなみ」の一般公開を行い、その中で、鹿児島航空基地ヘリ「MH698」協力のもと、巡視船「いそなみ」潜水土との降下吊上訓練の展示を行いました。



感謝状贈呈～ヨット乗揚げ事案の救助功績～

7月16日、与路島の与路港で5月12日に発生した「ヨット乗揚げ事故」に際し、迅速な対応により事故者1名を救助した功績に対し、海上保安協力員の「信島豊武」氏及び救助船船長「栄勝永」氏に対して、古仁屋海上保安署長から感謝状を贈呈しました。



「海の日」海事功労者表彰

令和8年7月20日の「海の日」に、多年にわたり海上保安業務に貢献を頂いた皆様に対して表彰が行われ、第十管区海上保安本部及び奄美海上保安部等において表彰状の贈呈が行われました。

奄美海上保安部管内の受賞者は次のとおりです。

◇国土交通大臣表彰

有村 忠洋 様
叶 隆典 様

◇海上保安庁長官表彰

伊集院 幼 様

海上保安協会役員として多年にわたり海上保安思想の普及事業などを推進し、海上保安業務の発展に尽力されました



◇第十管区海上保安本部長表彰

中濱 貞俊 様
有川 貞好 様
井 睦夫 様

海上安全指導員として、多年にわたりブレイジャーボート等の安全思想の普及や海難の未然防止等に尽力されました



◇奄美海上保安部長表彰

隈崎 悦男 様
森田 弘光 様
前 登志朗 様

海上保安協会役員として多年にわたり海上保安思想の普及事業などを推進し、海上保安業務の発展に尽力されました



※奄美海上保安部長表彰状の贈呈が台風等の関係で一部実施出来ていないことを深くお詫び申し上げます。

第10回「さたぜえないとふえすていバル」～In 屋仁川

6月28日、奄美市社交飲食業組合が主催する奄美の繁華街「屋仁川」のお祭りイベント「さたぜえないとふえすていバル」が開催され、奄美海上保安部もブースを出展し、海上保安業務のPRを行いました。



奄美市「商店街夏祭り」

8月22日、奄美市商工会議所主催による恒例の奄美市商店街夏祭りが開催され、奄美海上保安部も、海上保安ブースを出展しました。ブースには、234名の家族連れ等が訪れ、当庁のPRを行うとともに学生募集も行いました。



古仁屋小学校生徒の職場見学～未来の海上保安官を獲得すべし～

8月4日、古仁屋海上保安署に古仁屋小学校5年生4名が夏休みを利用して職場見学に訪れました。同4名は、過去にも巡視艇「いそなみ」の見学経験があり、今回夏休みの自由研究を兼ねて改めて学びたいとの希望により、船内見学や業務説明を行いました。



未来の海上保安官を獲得すべし ～学生募集活動～

海上保安学校、海上保安大学の受験申込時期を前に、管内各高等学校に対し、学生募集活動を行いました。奄美の海の安全安心を守るため、地元高校出身の海上保安官が増えることを期待しています。



6月12日古仁屋高等学校



6月25日大島北高等学校



6月25日大島高等学校



6月26日奄美高等学校



各種訓練模様

◇巡視船「あまみ」と鹿児島航空基地所属ヘリ「MH976」との連携強化訓練

6月11日、巡視船「あまみ」は、錦江湾において、鹿児島航空基地所属ヘリ「MH976」との離着船及び燃料給油訓練、機動救難士によるHR訓練を実施しました。



HR 訓練
鹿児島航空基地所属「MH976」



航空燃料給油

◇巡視船「かいもん」急患搬送訓練

6月14日、いつ何時いかなる急患者が発生しても問題なく対応できるように急患搬送訓練を実施しました。



◇海面救助員訓練

6月16日、奄美海上保安部警備救難課「海面救助員」の技能維持訓練

漂流者救助訓練



負荷を付けた立泳ぎ訓練
(5kg/5分)

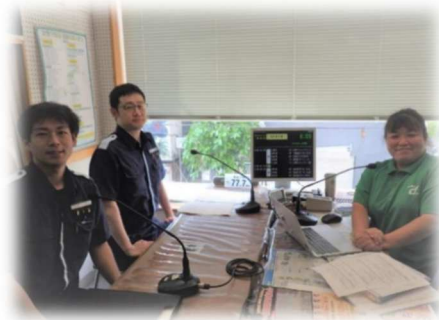
7月2日、16日、奄美海上保安部警備救難課及び巡視船「かいもん」の海面救助員候補者に対する養成訓練



あまみエフエム（77.7MHz）に生出演



◇ 6月4日、奄美海上保安部交通課及び警備救難課職員があまみエフエムに生出演し、交通課からは「台風海難防止強調運動」、警備救難課からは「海洋環境保全推進月間」について説明を行い、台風海難防止の対策と油や廃棄物による海洋汚染の防止について呼びかけを行いました。



◇ 7月2日、奄美海上保安部管理課及び交通課職員があまみエフエムに生出演し、管理課からは「海上保安官採用試験等」について、交通課からは「海の事故ゼロキャンペーン」について説明を行い、海上保安官の募集と海難事故防止を呼びかけました。

◇ 8月6日、奄美海上保安部警備救難課、交通課職員があまみエフエムに生出演し、警備救難課からは「薬物乱用防止」について、交通課からは「ダイビング事故防止」について説明し、注意喚起と事故防止を呼びかけました。



急患輸送（2件、2名）

◇ 巡視船「かいもん」による喜界島からの急患輸送

6月15日、鹿児島県から、喜界島において「重症肺炎」患者（52歳、男性）の急患搬送要請があり、11:05 巡視船「かいもん」を喜界島に急行させ、12:50 大島地区消防組合喜界分署より患者を引き継ぎ、喜界徳洲会病院医師等3名及び患者の妻を同乗のうえ、14:40 名瀬港（佐大熊地区C岸壁着岸）に入港し、14:53 大島地区消防組合消防車へ引継ぎました。その後、患者は、鹿児島県立大島病院に搬送されました。



◇巡視船「かいもん」による喜界島からの急患輸送

6月16日、鹿児島県から、喜界島において「左腎部膿瘍、敗血症性ショック」患者（57歳、男性）の急患搬送要請があり、09:10 巡視船「かいもん」を喜界島に急行させ、10:35 大島地区消防組合喜界分署より患者を引き継ぎ、喜界徳洲会病院医師等2名及び患者の弟を同乗のうえ、12:10 名瀬港（2号岸壁）に入港し、12:28 大島地区消防組合救急車へ引継ぎました。その後、患者は、鹿児島県立大島病院に搬送されました。



海難の発生状況

令和8年6月から8月の間、奄美管内では、人身事故3名、船舶事故4隻が発生しました。概要は次のとおりです。

◇大島郡徳之島町亀徳港内海中転落（人身事故）

6月24日10:00頃、徳之島亀徳港に係留中のタグボート船長から、「岸壁から約3mの海上に本船乗組員と思われる人物が転落し浮いている。」との通報を受けました。

事故者（静岡県下田市在住、57歳、男性）は、消防により10:30岸壁に引揚げられましたが、死後硬直が認められたため、救急隊により不搬送と判断され、その後、警察主導の合同検視を実施した結果、死因は溺死の疑いと判断されました。

事故者は前夜居酒屋で飲酒していたこと、また、係留中のタグボートと岸壁の間にはタラップ等無く、岸壁に船の乾舷を寄せて、乗り降りしていたとのことから、事故者が誤って落水した可能性があるとのことで詳細を調査中です。



◇沖永良部島国頭岬付近乗揚げ船（船舶事故）

7月23日17:13頃、鹿児島県漁業協同組合沖永良部島支所職員から、「沖永良部島国頭岬付近において、漁船らしき船舶が乗揚げている」旨、奄美海上保安部あて通報がありました。

事故船舶（沖永良部漁協所属漁船、4.4トン、40歳男性1名乗り）は、23日早朝から国頭岬沖合付近にて漁を行っており、曳縄漁をしつつ帰港中、正面に見えたリーフを避けるため舵を切りましたが、舵が効かず、機関を後進にしましたが間に合わず16:55頃、国頭岬の海岸から約300m沖合のリーフに乗揚げたものです。



船体は約 40 度傾いて座礁し、男性に怪我は無く、油の流出、浸水はなく、船固め作業等を 19:25 に完了しました。

24 日 14:45、沖永良部漁協所属船 3 隻にて沖出し作業を開始し 16:33 にリーフから引き出された後、内 1 隻に曳航され、18:20 頃に和泊港に入港、陸揚げされました。



◇名瀬港観光船バース付近帰還不能（人身事故）

事故者（52 歳、男性）は、7 月 25 日 19:30 頃、名瀬港観光船バース付近で飼い犬と散歩中に飼い犬が海に落ち救助するため入水し、飼い犬を確保しましたが、その後、陸上に戻る事が出来なくなり救助を求め、それを付近の釣人が聞きつけ、20:20 頃消防へ通報しました。

事故者は岸壁にしがみついているところを 20:35 頃、消防隊により救助されました。

事故者は、手にかすり傷がある程度で、他に異常を認めなかったことから不搬送となりました。



◇奄美市知名瀬漁港係留作業船内熱中症（人身事故）

7 月 26 日、事故者（宮崎市在住、21 歳男性）は、08:30 頃から、知名瀬漁港に係留中の作業船上で作業員 7 名とともに港湾工事を行っており、小休止を挟みながら、船上で資材整理をしていた 12:30 頃、事故者の足がつる状況となったことから、熱中症の可能性があると判断し、119 番に通報し、その後、大島地区消防救急隊により鹿児島県立大島病院に搬送され「熱中症」及び「脱水」と診断されました。



◇大島郡宇検村芦検漁港作業船（小型兼用船）沈没（船舶事故）（台風 13 号関連）

8 月 8 日 09:20、宇検村芦検漁港に台風 13 号接近に伴う避泊で係留中の船が沈んでいるとの通報がありました。

事故船舶（小型兼用船、10 トン、13.49m）は、7 日、台風 13 号避泊のため他作業船 4 隻とともに芦検漁港に係留していたところ、8 日 06:45 頃、船体全体が沈没しているのが確認されました。

事故船舶は、台風の影響ため引揚げ作業が進まず、10 日にオイルフェンスが展張され、台風通過後の 13 日に陸に引揚げられました。



◇笠利埼西方沖漁船乗揚げ（船舶事故）

8月14日03:27頃、事故船舶（漁船、4.96トン、2名乗り）の船長から「笠利埼沖でリーフに座礁しているので救助をお願いします。私を含めて2名 乗船していますが、どちらも怪我、体調不良はありません。」との118番通報がありました。

事故船舶は、宝島での漁を終え、龍郷町番屋漁港へ帰港中の8月14日03:27頃、笠利埼灯台の西方沖のリーフに乗揚げたものです。事故時軽油を約400リットル搭載していましたが、乗揚げによる油の流出、浸水はありませんでした。

巡視船「かいもん」及び鹿児島県水難救済会龍郷救難所所属漁船他1隻が現場に向かい、06:15頃、救難所所属漁船他1隻により離礁作業が開始され、06:28に離礁し、その後鹿児島県漁協龍郷支所所属船に曳航され08:43龍郷町番屋漁港に入港しました。

事故船舶は舵が脱落し、若干の浸水が認められましたが、油の流出はありませんでした。



◇大島郡徳之島町亀津漁港漁船漂着（船舶事故）（台風18号関連）

事故船舶（漁船、9.7トン、11.96m）は、所有者（徳之島在住男性、28歳）が台風18号接近に伴い24日午前中に亀津漁港港口付近で船首からアンカー1本（錘500キロ）を入れ錨泊させていたもので、26日早朝、所有者が確認した際には既に流出しており、付近を探していたところ05:30頃亀徳漁港に隣接する川の河口付近に漂着しているのが確認されたものです。



事故船舶には、燃料A重油1.5キロリットルが搭載されたままであり、27日にオイルフェンスを展開し、その後、28日に燃料の一部抜き取りが行われ、31日の満潮に併せて漂着場所の対岸に移動させ、9月1日に燃料を全て抜き取った後、クレーンにより陸揚げされました。



奄美海上保安部

古仁屋海上保安署



©JCGF

目指せ、海上保安官！



海上保安官になるためには、「海上保安大学校」または「海上保安学校」の入学試験に合格する必要があります。

海上保安官は、巡視船艇などの海上勤務だけでなく、本庁（霞が関）、管区本部（全国 11 か所）などでの陸上勤務など、様々な業務を行います。

海上保安官に必要な幅広い知識や技能、特殊な業務を行うための専門的な能力を養成するための教育機関として、幹部職員を育成する「海上保安大学校」と現場第一線の職員を育成する「海上保安学校」において必要な知識、技能を身に付けて現場へ赴任することになります。

海上保安大学校は広島県呉市にあり、本科4年（2 学年後半から航海、機関、情報通信に分かれる）、専攻科6ヵ月、研修科3ヶ月の計4年9ヶ月の教育を受けます。

海上保安学校は京都府舞鶴市にあり、一般課程（航海、機関、通信、主計、航空整備）は1年間、管制課程は2年間、航空課程及び海洋科学課程は1年間の学校教育を受けます。

どちらも学校という名が付いていますが、入学と同時に国家公務員となり、毎月約 21 万の給与が支給されます。

両校ともに全寮制で、規則正しい団体生活を通して、海上保安官に必要な正義・仁愛の精神を身に付け、リーダーシップ、チームワーク、気力、体力の錬成を図っています。



**次のページから「若手海上保安官からのメッセージ」を掲載しています。
受験のための準備など役立つ情報が沢山あるのでぜひご覧ください！**

海上保安官からのメッセージ

これから海上保安官を目指す高校生の皆様のために、奄美海上保安部、古仁屋海上保安署で勤務している若手海上保安官からのメッセージです。

- 1 氏名、年齢、出身高校、現職、入庁年月
- 2 海上保安官を目指したきっかけ
- 3 受験のための準備
- 4 学校の思い出など
- 5 これから海上保安官を目指す高校生の皆様へ一言

- 1 一鷹 翔琉 24歳 男性 鹿児島県立国分高等学校 巡視船かいもん航海士補 R3.10入庁
- 2 物心ついた時から人命救助に携わりたいと考えており、海上保安庁が海難救助をしていることを知り受験しました
- 3 私は専門学校に通っていたので、1日8時間は勉強していました。正直遊びたい気持ちはありましたが、我慢して勉強したことで、余裕を持って受験に挑むことが出来ました。オススメの勉強方法はとにかく書いて覚えることです。
- 4 先輩や後輩と休日に買い物に行ったり、夜は居酒屋で普段できない話などして楽しく過ごしました。
耐寒訓練や遠泳訓練等、きつい訓練も多いですが、乗り切ることで自信に繋がりました。
- 5 海上保安官は様々な業務を遂行できる刺激的な仕事です。勉強はきついと思いますが、その先は楽しいことが沢山あります。共に仕事ができることを楽しみにしています！

- 1 近藤晋一郎、27歳、福岡県私立筑陽学園高等学校 巡視船かいもん主計士補 令和2.4入庁
- 2 公務員専門学校で海上保安官の仕事を知り、魅力を感じ、働きたいと思ったから
- 3 公務員試験の過去問をたくさん解き、間違ったところを何度も復習し、試験に臨みました。
- 4 たくさんの仲間に出会うことができ、日々過ごした毎日が思い出です。
- 5 勉強が辛い時は海上保安官になった自分を想像して、たまにはリフレッシュもして頑張ってください！

- 1 市来 優、23 歳、鹿児島県立鹿屋工業高等学校 巡視船あまみ通信士補 R7.4、R3.4 入庁
- 2 第十管区海上保安本部で事務官として勤務するなかで、私も海上保安官として現場最前線で活躍したいと思ったためです。
- 3 公務員試験問題や保安学校の過去問を繰り返し解きました。
- 4 厳しい訓練や資格試験を同期のみんなと乗り越えたことが 1 番の思い出です。
- 5 自分の目標に向かって努力し頑張ってください！

- 1 宮本 大雅、20 歳、沖縄県立名護高等学校 巡視船かいもん機関士補 令和 7.4 入庁
- 2 海上保安官にあこがれており、仕事をしたいと思ったからです。
- 3 とにかく過去問を沢山勉強しました。
- 4 訓練をみんなで頑張ったことが思い出となっています。
- 5 勉強は大変だと思いますが、頑張ってください！

- 1 草木迫聖、28 歳、私立鹿児島実業高等学校 巡視船かいもん機関士補 H28.4 入庁
- 2 映画「海猿」を見たことをきっかけに海上保安官に興味をいだき目指しました。
- 3 高校 3 年 4 月から、本格的に公務員対策の受験勉強を始め、6 月からは公務員専門学校の夏季講習に参加しました。勉強がしんどい時は筋トレやランニングをして気を晴らしました。私は勉強が苦手な方でしたが、受験対策したことで何とか合格することができました。
- 4 日々、訓練や試験勉強を頑張る中で、リフレッシュとして、同部屋の同期と週末には外出し、食事をしたり買い物に行ったりしたことが楽しい思い出です。
- 5 海上保安官の業務は幅広く、それぞれに魅力があります。ぜひ一緒に頑張りましょう。

高校生の皆様へ

奄美のきれいな海と安全を守る仕事を是非いっしょにやってみませんか！

お問い合わせ先 奄美海上保安部管理課（TEL 0997-52-5811）

海上保安官はさまざまな経験を積みながら、自分の適性や希望に応じてキャリアアップを図ることができ、あらゆる分野のスペシャリストとして活躍する道があります。



特別警備隊



機動防除隊



機動救難士



特殊救難隊



船舶工務官



武器技術官



南極地域観測隊



国際捜査官



ソマリア周辺海域派遣捜査隊



試験研究官



鑑識官



情報処理官



運用管制官



音楽隊



教育機関教官



海上保安官採用サイト

<https://www.kaiho.mlit.go.jp/recruitment/>